高等学校 × 理科・理数

理科・理数どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。

変わる所 4項目　解説PDF 1件



10秒でいうと

「科学と人間生活（8新単位）」1科目で必履修を満たす道を新設。
各基礎科目に科学ガイダンス

高校の理科は、「○○基礎」と「○○」という科目の基本的な枠組みを保つ方向です。そのうえで、必履修の満たし方に新しい道を加える案です。「科学と人間生活（8新単位）」1科目だけで満たせるようにします。各基礎科目には「科学ガイダンス」を置く方向です。科目を組み合わせた柔軟な開設も考えられるとしています。暗記に偏らない授業づくりも促されます。

どこが変わる？現行⇔次期（高等学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

見方・考え方

現行

「（身近な）自然の事物・現象」を「科学的な視点」で捉え、比較したり関係付けたりする方法で考える（小は問題解決、中高は科学的に探究する方法）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「**自然や社会の事象・言説**」を「**自然科学的な視点**」から捉え、観察・実験の結果や科学的知見に基づいて客観的・論理的・批判的に考える、と小中高で統一する案。

P183　P185　※新旧の文言は資料編m3 P2（理②）

© 原田英語.com 次期学習指導要領ナビ（https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/）｜高等学校 理科・理数：どこが変わる？（マーカー比較）｜研修・校内での印刷・配布OK（連絡不要）

高校の必履修科目の組合せ

現行

「科学と人間生活」＋「○○基礎」1科目（4単位）、または「○○基礎」3科目（6単位）のどちらか。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

上の2通りに加え、「科学と人間生活（8新単位）」1科目を新設することが適当とされた。組合せは8新単位・8新単位・12新単位の3通りになる案。

P183 P188 ※単位数の内訳は資料編m3 P25（理⑮）

「科学と人間生活」の学び方

現行

物理・化学・生物・地学に関する各項目で、それぞれ2つのうち1つを選んで学ぶ。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

両方を学ぶことも可能にすることが適当とされた（その場合は**4単位程度**＝8新単位）。内容も中学校とのつながりと身近さを重視して見直す方向。

P188 ※内容構成の新旧は資料編m3 P25（理⑮）

高校理科の標準単位数

現行

科学と人間生活2、物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎 各2、物理・化学・生物・地学 各4（単位）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

科学と人間生活「**4 or 8**」、各「○○基礎」4、各「○○」8（**新単位**）とする案（P82「構成（案）」）。

P82 ※総論の単位数表（P82）。1新単位＝50分×17コマ（P46）

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの高等学校の理科・理数の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **理科編 理数編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 理科編 理数編

学習指導要領の本文

PDF **高等学校学習指導要領（平成30年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

高等学校の理科・理数の指導案（試案）



高 化学基礎 1年

物質を分ける・見分ける

本時のねらい
ペーパークロマトグラフィーの実験を通して、調べた水性ペンの黒インクについて、色素の分かれ方から成分の構成を考え、班ごとの結果を比…

指導案を見る →

もっとくわしく

理科・理数の変更点（くわしく） 新旧比較（全校種） 高等学校の先生へ
資料室（高等学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。